

PAT-NO: JP360162684A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60162684 A

TITLE: STAMP FOR DAILY BUSINESS USE

PUBN-DATE: August 24, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TSURUMI, SUKEO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TSURUMI SUKEO	N/A

APPL-NO: JP59018710

APPL-DATE: February 4, 1984

INT-CL (IPC): B41K001/58

US-CL-CURRENT: 101/327, 101/405

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent a stamp surface from being damaged, by a construction wherein an outer cylinder and an inner rod are slid relatively to each other to stretch or contract a spring in the condition in which a transverse shaft and a long groove hole provided respectively in the outer cylinder and the inner rod are engaged with each other.

CONSTITUTION: The transverse shaft 6 with both ends supported by a side wall of the outer cylinder 1 is passed through the long groove holes 2a provided at both side openings of an internal space of the inner rod 2. A tension spring 7 having hook parts at both ends thereof is hooked on the shaft 6 at the upper end thereof and to a transverse pin 9 at the lower end thereof. Starting from a gripped position, a combined cover and ink pad 4 is rotated while holding a head part 3 to disengage a hooked cut 3 and a projection of the pin 9 from each other, whereby it is enabled to stamp directly. Namely, when the head part 3 is held, the lower end of the spring 7' is stretched by the pin 9 of the inner rod 2, since the upper end of the spring 7' is engaged with the transverse

shaft 6 of the outer cylinder 1. In the sliding ranges of the long grooves holes 2a and groove holes 1a, both the inner rod 2 and a stamp member 5 are lowered, and are engaged by the hooked cut 4a in the combined cover and ink pad 4 and the projection of the transverse pin 9. When the engagement is released by rotating, the stamp member 5 is retracted by the recoil strength of the spring 7', naturally resulting in a condition wherein the stamp member 5 is protected.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio

## ⑪ 公開特許公報 (A) 昭60-162684

⑫ Int.CI.  
B 41 K 1/58識別記号  
厅内整理番号  
6951-2C

⑬ 公開 昭和60年(1985)8月24日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

## ⑭ 発明の名称 実用印章器

⑮ 特 願 昭59-18710

⑯ 出 願 昭59(1984)2月4日

⑰ 発明者 鶴身 祐雄 西宮市塩瀬町名塩594-47  
⑱ 出願人 鶴身 祐雄 西宮市塩瀬町名塩594-47

## 明細書

1. 発明の名称  
実用印章器

## 2. 特許請求の範囲

- (1) 外筒内を印材の固着された内棒が上下搬動して出没する機構に於て、該外筒及び内棒の相互に設けた横軸と長溝穴が嵌合して搬動し乍らバネを伸縮する構造を特徴とする実用印章器。
- (2) 外筒内を印材の固着された内棒が上下搬動して出没する機構に於て、前記内棒に管材を採用した特許請求の範囲又／複記載の実用印章器。
- (3) 外筒内を印材の固着された内棒が上下搬動して出没する機構に於て、該外筒の下口部に接合する蓋兼内池がその側面の切込鉤と該内棒の横ピンで係止される特許請求の範囲又／複記載の実用印章器。

## 3. 発明の詳細な説明

本発明のオノの目的は、証明印鑑として印章

面の損傷を完全に防護することである。

そのオノの目的は、朱肉の付着と捺印操作が最も簡単にできることである。

そのオノの目的は、美術彫刻等の適性を有する貴石類を更に有効価値ある用に供することである。

そのオノの目的は、脆性有硝子系材や人造宝石等の鋳造文字印をも実用化することである。

そのオノの目的は、本器の透明体を広汎な图案装飾の表現にも利用することである。

そのオノの目的は、本器の大小各形状品貨物と他の機能品と組合せて多様なキャラクター商品化し使用することである。

そのオノの目的は、本器の主体と、内径外径が相互に適合する多種類の管材を活用して最も簡易に量産することである。

その構成を述べると、通常捺帶使用時の外観がオノをオナ圖に示す如く、特に透明高級プラスチックや一般の金属その他適性材料で作り印材の断面は丸角任意で各形状相応の外筒(1)又

は角外筒(1)と本体(1)と、該本体内で上下摺動する印材(5)と下端に固定した内棒(2)又は角内棒(2)との頭部(3)、(3)又は角頭部(3)等からそれぞれ成り、以後標準品と同一充型にて述べ。角型等については、こちに準ずるものとする。

即ち外筒(1)の側壁に両端を支持された横軸(6)がオ5乃至オ8mmの如く、内棒(2)には通常コンパクト化するため、その内部空間にコイルバネを収納する。前記内部空間の両側口に作られた長溝穴(2a)には横軸(6)が貫通し、前記バネにはオ7.4×8mmの圧縮バネ(7)があり、オ5mm、オ6mmにはその両端に鉤部(3)と張セネ(7)が上は横軸(6)に、下は横ピン(9)に引掛けられる。圧縮バネ(7)の場合には下を横軸(6)に、上は該内棒に付加した小横軸(8)に接する。

前記引張、圧縮両バネ方式何れの場合も内棒(2)の下部に固定された横ピン(9)は印材(5)と結合して利用する可とし、該外筒下部の溝孔(1a)を貫通して蓋兼肉池(4)の両側にあたる切込鉤(4a)に停止できることによりその両端を突起させる。

また外筒(1)は中央筒のよろ左角外筒(1)の1/3が印材のみを街型にした丸角外筒(10)の一例が10回等も考えらるが、この場合は角蓋兼肉池(4)は旋回できないのでその保止には通常ナットのよろ左螺締材(11)よろ。その他蓋兼肉池には汎用の平力性樹脂材を採用してもよい。

右内棒(2)頭部(3)印材(5)等既て同体の材料を使うときは前記内棒の中は長溝穴(2a)を作り、当該バネを収納取付ければよいが一般に内棒は管材を使うのが便利である。

また簡易な方法としてオ11.4×12mmの如く頭部(3)と外筒(1)の間で大掛バネ(7)等で併勢し、該外筒の下部溝孔(1a)と横ピン(9)で上下の摺動範囲を限定することも考えらる。更に特別外観を簡素化するにはオ13mmの如く頭部(3)内にバネ等を隠蔽せたり外筒(1)の上下端部を段付加工する等して組付り、携行時の体裁を圖3に示す。

その作動機能を述べると、オ1mmの所持握端空勢から頭部(3)を押えてオ2mmのよろに蓋兼肉池(4)を旋回して切込鉤(4a)と横ピン(9)突起の保合

を解いて離脱すれば印材(5)には朱肉(4b)が既に充分付着されていて、外筒(1)の下端面は汚染されないまでオ2mm、オ3mm何れの状態からでもその位置に頭部(3)を押えて捺印できる。即ちオ5mmでは頭部(3)を押えて、小げ引張バネ(7)は上端を該外筒の横軸(6)に係止させて、下端は該内棒の横ピン(9)により伸張され、長溝穴(2a)と溝孔(1a)で各々の摺動範囲、内棒(2)印材(5)が共に下降していくと該蓋兼肉池の切込鉤(4a)と横ピン(9)が突起で保合される。その保合で旋回解脱すれば該バネの復元でオ6mmのよろに印材(5)が引込まれ自然にオ3mmの如く該印材保護状態になる。

オ7mmのよろに圧縮バネ(7)を使ふときは頭部(3)を押えて内棒の小横軸(8)と下方の横軸(6)の間で圧縮されていて前述同様該蓋兼肉池の旋回で保止を解くとオ8mmのよろに該バネの復元でオ3mmの捺印姿勢になる。オ4mmの角型に於ても機能に特異な変はない。前記各バネ類の強さは細繊小捲子で十分な堅軟易易りの度よい、オ2mmの如く指圧で制止でき程度にさる。

以上のように蓋兼肉池を外した状態で該印材は常にオ3mmの如く外筒(1)内で保護されており、落下時損傷等の心配はなく、該蓋兼肉池を着脱する毎に朱肉の付着が、印材(5)と外筒(1)の内面间隙を適度保持する限り、他を汚さず該印材のみは自動的に行はれてるので蓋を外して直ちに捺印でき、また印肉を他の肉池から使用するときもオ2mmのよろにして印材部分を突出させ指圧で保持して行なえばよく、不都合は全くない。

なお印材については象牙の使用も歴然とされ折から本器は、その量、頻度に使用可能範囲が広大で、旧来からある水晶印は勿論、各級品種で尚ほ青石、宝石等裸石材では欠損破損を免えて印材に用ひられたものが復活普及されることはになり、貴重、印鑑と自己の実用的美術工藝重要な物として保有することも意義と思はれる。

外筒等の本体材質も印材の価値に応じて破算耐熱高強度の高級透明樹脂から一般金属類までの至るまで吟味採用を考え、普及品にレバも

市販にある汎用管材から相互に内外径が適合するものと一対と1つ大小口径通寸各々2種類を選んで採用すれば、粗んと特殊な工作を要せず簡単に当該製品を作り得て最も能率経済と云ふべきである。

また印材の破損防護が完全であるとの硝子等、人造宝石等の高耐熱性ニユーセラミック等を鋳型にする凹字彫刻型から凸字作りができる溶融鋳造による印字製品に実用に供することができる。その他透明な外筒と内棒が往復運動するを利用して変化する内装文字画面や興味ある意匠も工夫されると共に美麗な石材印等を外部より観賞し下り使用できることは特徴的であり。

なお、大小形状に応じて小は首飾り、ネクタイピン、筆記具やデジタル時計、ライターその他の組合せたキャラクター商品にも利用され、總て有効な証明印として認められるものができます。

#### 各図面の簡単な説明。

オ1図は本実用印章器の所持握持姿勢を示す

- 1 ……外筒
- 1a ……溝孔
- 2 ……角内棒
- 3 ……頭部
- 3' ……頭部
- 4 ……角兼内池
- 4b ……朱吻
- 6 ……横軸
- 7 ……引張バネ
- 8 ……小横軸
- 10 ……丸角外筒

- 1' ……角外筒
- 2 ……内棒
- 2a ……長溝穴
- 3 ……角頭部
- 4 ……蓋兼内池
- 4a ……切込金釦
- 5 ……印材
- 7 ……圧縮バネ
- 7' ……大捲バネ
- 9 ……横ピン
- 11 ……線鎖材

特許出願人 鶴賀佑雄

#### 斜視図。

オ2図はオ1図の頭部と押え蓋兼内池を離脱させた状態の斜視図。

オ3図は捺印でき自然の状態を示す斜視図。

オ4図は角型実用印章器の一例を示す外観斜視図。

オ5図はオ1図AA矢視断面で引張バネ使用の図

オ6図はオ5図に於て蓋兼内池を旋回保合解除の状態を示す。

オ7図はオ5図同様で圧縮バネを使用した図。

オ8図はオ6図同様で圧縮バネを使用した図。

オ9図は本器を分解して各部分の形状の一例を示す斜視図。

オ10図は角形印材を使用する外筒の一例を示す斜視図。

オ11図は外装バネ使用の一例を示す斜視図。

オ12図はオ11図のBB矢視断面。

オ13図は本器の外観を簡素化した一例を示す斜視図。



